



関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	『音読中国語 入門編』 相原茂・蘇紅 著（朝日出版社）
補助教材等	辞書：『はじめての中国語学習辞典』（相原茂 著 朝日出版社）
学習上の留意点	
<p>初めて学ぶ言葉なので、週に一度、授業時に教科書を開くだけでは自分のものにできない。せっかく学ぶからにはきちんとマスターして欲しいので、家庭学習を重視していく。授業時にやったことをすぐに練習する、という形で進め、より多く元気に口に出し発音し、より多くの問題をこなし、中国語の発想に慣れていってもらおう。</p> <p>テキストやプリントなど授業時に必要なものを忘れたり、中国語以外の事をやっているとな減点の対象になるので、集中して授業に臨んで欲しい。</p> <p>なお、「達成度評価」の「その他」は練習問題や発音の出来を言うので、定期試験だけでなくふだんの学ぶ姿勢も評価の対象とする。授業時にしっかりやっていたら問題ないレベルの出題で試験を実施するので再試はしない。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>ほとんどの学生にとって初めて学ぶ言葉になると思うが、最初が肝心ある。中国語学習の世界には「発音よければ、半ばよし」という言葉もあるくらいである。「難しそう」というイメージもあるかと思うが、まずは中国語の1つ1つの音をマスターする事から始めるので心配せず、学び始めて欲しい。ただ、この作業は単純な発音のくり返しになるので、辛抱強く、元気に真剣にやらないとうまくできない。まずはここをクリアする事が第一歩なので、自分自身のやる気と根気が必須である。</p> <p>その後も地道に1つ1つの積み重ねが重要で、一気に上手くなることはない。</p> <p>皆が思っている以上に就職しても、進学しても中国語を使うチャンスは多いと思われるし、コミュニケーション力を鍛える事は技術者としても社会人としても大切なことなので、一緒に中国語習得に向けてがんばって行こう。</p>	

**授 業 の 明 細**

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	・概説	・中国語とはどういうものかを説明でき、それを学ぶために必要な知識を習得する。	当該箇所の復習
2	・発音編Ⅰ	・声調と単母音を正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しくできる。
3	・発音編Ⅱ	・単母音と子音正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しくできる。
4	・発音編Ⅲ	・子音を正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しくできる。
5	・発音編Ⅳ	・子音を正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しくできる。
6	・発音編Ⅴ	・複母音と鼻母音を正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しくできる。
7	・発音編Ⅵ	・鼻母音を正しく聞き取り、発音し、書くことができる。	当該箇所の発音やピンイン表記が正しくできる。
8	・中間試験	・中間まとめとして試験を行う。	学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
9	・試験返却と解答解説 ・発音編Ⅶ	・試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・声調の変化とr化と軽声を正しく発音できる。 ・あいさつ用語を発音でき、書ける。	当該箇所の復習
10	・第5課	・疑問詞疑問文「だれ」「なに」、人称代名詞、「どうぞ～してください」の表現、動詞述語文、一般疑問文を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
11	・第6課	・疑問詞疑問文「いくつ」、文末の「了」、「有」構文、副詞「再び」「まだ」、動詞の重ね型を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
12	・第7課	・指示代名詞(1)、「是」構文、疑問詞疑問文「なんの～」構文、構造助詞「的」、助動詞「想」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
13	・第8課	・姓・名の言い方、指示代名詞(2)、方法を問う疑問詞疑問文を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
14	・総復習(ユニット2)	・第5課～第8課の項目を再確認すること。	当該箇所の復習
<b>期末試験</b>			学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
15	・試験返却、解答解説 ・前期のまとめ	・試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・前期の学習事項のまとめを行う。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	・第9課	・数字の言い方、年齢の聞き方・答え方、疑問詞「いつ」、年月日・曜日の言い方、副詞「就」を正しく活用でき、家族の言い方を暗記すること。	当該箇所の復習
17	・第9課	・数字を用いた表現の聞き取りができること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
18	・第10課	・形容詞述語文、反復疑問文、副詞「也」、2つの「ちょっと」と「少しも～でない」の表現を正しく活用できること。・本文を発音し、会話できる。	当該箇所の復習
19	・第11課	・疑問詞「どこ?」、時刻の言い方、連動文、「用事があるか」という表現を正しく活用できること。	当該箇所の復習
20	・第11課	・数字を用いた表現の聞き取りができること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
21	・第12課	・存在を表す動詞「在」、前置詞「离」、助詞「吧」、実現や完了を表すアスペクト助詞「了」、助動詞「得」を正しく活用できること。	当該箇所の復習
22	・第12課 ・総復習(ユニット3)	・本文を発音し、会話できること。 ・第9課～第12課の項目を再確認すること。	当該箇所の復習
23	・中間試験	・中間まとめとして試験を行う。	学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
24	・試験返却と解答解説 ・第13課	・試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・過去の経験を表す助詞、動作の進行を表す「在」を正しく活用できること。	当該箇所の復習
25	・第13課	・三つの「在」、「就要～了」、使役動詞の用法を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
26	・第14課	・量詞、副詞「～したばかり」、結果補語、副詞「只」を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
27	・第15課	・「～が～する番だ」、動詞の重ね型(2)、様態補語を正しく活用できること。	当該箇所の復習
28	・第15課	・時間の量・時量補語を正しく活用できること。 ・本文を発音し、会話できること。	当該箇所の復習
29	・第16課	・二重目的語、存現文を正しく活用できること。	当該箇所の復習
<b>期末試験</b>			学んだ内容の総復習を行い、試験に備える。
30	・試験返却、解答解説 ・後期のまとめ ・授業改善アンケート	・試験解説により、間違った箇所を理解する。 ・後期の学習事項のまとめを行う。 ・授業改善アンケートを実施する。	
<b>総 学 習 時 間 数</b>			90 時間
<b>講 義</b>			60時間
<b>自学自習</b>			30時間